

（魅力動画）

（入会申込フォーム）

（行事案内）

同友会って
どういう会？

（Facebook）

（X）

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2025年（令和7年）
4月号
No. 445
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会
〒901-0152
沖縄県那覇市字小嶽1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



ちゅらら工房(株)
代表取締役 具志 直人氏
＜サンライズ支部（予定）＞



学ばことの大切さ
若い時から建設現場で足場組立（鳶職）の仕事をしていました。父の職人としての一生けん命働く背中を見ながら沖縄工業高校の定時制に通い、卒業後専門学校で建築の勉強を。本人曰く、基礎がなかったため、小学三年レベルから学び直し、設計の資格取得後、設計事務所に勤務しますが、

秀囲気に馴染めず一年ほどで退職。就職氷河期の時期で仕事もなく、父から「リフォームでもやったら」と言われ、六畳一間の実家から個人事業主でスタートさせます。十日間、朝から夜までチラシを配っても一件の問合せも来ません。ようやく見積もり依頼があり、それから少しずつお客様の紹介が増えてきました。友人と集まったり、飲み会も好きだったので深夜まで飲み続けて収入が入るとあつという間に散財。計画がなかったのです。それから反省して「考えて行動、考えて行動」を繰り返した。いろいろな団体に出向いて、学び続け、仕事の

隙間時間はすべて経営の勉強にあてました。
学びの習慣化
家族のことも忘れるほど勉強に没頭。妻から「あなたは誰ですか？」と言われたことも。自分を振り返り反省し、家族も仕事もバランスよく大切にしています。
勉強時間を確保するために、これまでの生活スタイルを変え五時に起床。今は午前四時起き、海辺を散歩しながら本を読むことが習慣になっています。
地元の仲間といつも「立派な会社になろうね」と話し合っています。いい会社にするために売上一億を超えたところで法人

幸せづくり
いい会社をめざして



会社外観

いい会社とは

具志社長は考える「いい会社とは、当初は「まず儲ける」が優先していた。今では「子供や孫まで働きたくなる会社、みんなの笑顔があふれる会社」を目指してと具体的なイメージを描いています。経営理念は、インターネットなどを参考にして



笑顔溢れる仲間たち

寄せ集めで作成していました。伊那食品の年輪経営に感動して「いい会社をつくりましょう」の言葉にヒットします。同友会の経営指針塾を受講して、「豊かな地域、豊かな家庭、豊かな人生を築くために」と経営理念が明確になりました。
「社長だけ頭でっかちではよくない。みんなが学べば何でもできる」と建築関連の技能士の資格取得にも会社負担で全員で取り組んでいます。成功体験が自信になり、みんながやればできるという前向きな社風もでき、資格取得者が増えることでお客様から安心・信用・信頼につながっています。学び続けることが人生を豊かにする第一歩です。
社内には、経営理念・現場の心得十カ条・メンバー全員の約束など、い

《会社概要》

ちゅらら工房(株)
代表取締役 具志 直人氏
＜サンライズ支部（予定）＞

住 所 / 西原町兼久261-2
TEL / 098-945-7170
https://tyurarakobo.com
事業内容/ 建築業（外壁塗装、防水、外構工事、リフォーム工事）



よい経営者になろう
よい経営環境をつくらう
（オフィスあるふあ・青山喜佐子）

いい会社づくりのキーワードがあふれています。
新支部の支部長として
同友会に入会してよかったことは、「会員が優しい、会員が温かい。同じ目線で話し合えることが嬉しい」こと。具志社長は、五月に設立予定の新支部の支部長の大役も待っています。新支部のスローガン（案）は「幸せづくり、笑顔あふれる、いい会社をつくりましょう」豊かな地域・家庭・人生のために。「新支部から同友会、沖縄県を元気に！モリモリ！盛り上げていきたいです。」と抱負を語りました。
同友会で好きな言葉はよい会社をつくらう
よい経営者になろう
よい経営環境をつくらう
（オフィスあるふあ・青山喜佐子）

第39回 定時総会 一般社団法人設立総会

日 時 4月25日(金) 16:00～20:30
会 場 パシフィックホテル沖縄 2F

内 容

- 第Ⅰ部 「第39回総会」(16:00～16:40)
- 第Ⅱ部 「設立総会」(16:55～17:30)
- 第Ⅲ部 「記念講演」(17:45～19:00)

テーマ
私の経営人生の源は同友会にあり
～生きる くらしを守る 人間らしく生きる～

講 師：エイベックス㈱
代表取締役会長 加藤 明彦氏
（愛知同友会・中間協副会長）

第Ⅳ部 「懇親会」(19:15～20:30)
参加費：無料

茶 論

東日本大震災から今年で十四年が経つ。新聞の「あの日を決して忘れない」と悲しみの癒えない人々の取材が涙をさそう。沖縄にも少なくない人々が移住してきた。慣れない土地での生活の辛さは癒えただろうか▼震災当時は誰もが危機管理を考えていただろう。しかし年月が経つにつれ、あの時の緊迫感や教訓は少しずつ薄れていくように感じる。改めて、「何がおきてもおかしくない」という前提で備えを見直すことが大切だ▼これは会社経営にも通じる話だ。想定外のリスクは常に潜んでいる。いざという時に損失を最小限に抑えられるよう普段から備えの管理を徹底したい▼同日、新聞で「照屋義実副知事が四年の任期を終えて退任」の記事を見た。照屋氏は長きに渡り沖縄同友会を牽引、数々の知見を積み上げてきた。その経験を活かし副知事として県政の諸課題解決に尽力されたことに沖縄同友会会員として功績に敬意を表したい。
（稲穂）

碧の会&中部支部 合同例会
同友会を使い倒し続ける



座長の宮里氏と報告者の玉城真由美氏

ようになり、経営を意識するようになります。

（有）大城水道工事社の玉城真由美社長による支部例会が二月十九日、レフ沖縄アリーナで開催され、五十三名が参加しました。

創業は父親で、男性社会の水道屋さんにはならないと思っていた玉城社長でしたが、ご自身の出産を機に事務手伝いとして入社。できる仕事・褒められることが増えるにつれ、やりがいを感じる

業』になるためにどうしたらいいのかという自身の学びに大いに役立ちました。同友会を使い倒し続けて経験を積み重ねた玉城社長は、二〇二〇年「経営理念はオレだ」と語っていた父より、無事に経営権を継承するに至りました。

その後大躍進が続き、十年ビジョンが実現した昨年は社長としての覚悟を新にしたそうです。同友会での学びを着実に実行し、成功を掴んでいく姿勢を直に拝見できた本例会は、とても刺激になりました。（有）豊里プロック 豊里和）

中部・浦西・南部支部 合同例会
人材育成と企業の成長は地域と共に



具志直人氏

今年度二回目の合同例会は、二月十四日、西原中央公民館にて開催され、四十五名が参加しました。報告者は、来年度立ち上がるサンライズ支部（仮称）の初代支部長予定者ちゅうら工房（株）の代表取締役・具志直人氏で「人

材育成と企業の成長は地域と共に」のテーマの経営体験報告でした。地元西原町で育った具志社長は二十四才でちゅうら工房を開業します。経営のことは無知で最初の数年は色々迷走しますが、徐々に経営者として

宮古支部 共育塾 第3講
相手の話を最後の『。』まで聴く！



森山賢氏

二月十四日、宮古支部「社長・社員共育塾」第三講が、（株）琉球補聴器の森山賢社長を講師に迎えて開催されました。テ

マは「コミュニケーションから生まれる効果」社員と経営者の関係づくり」で、スポット受講者を含む十八名が参加し、未来創造センター研修棟にて行われました。講義の中で森山社長は、コミュニケーションにおいて最も大切なこと

は「相手の話を最後まで聴くこと（最後の『。』まで聴く）」であると強調。また、相手に関心を持つて話を聴くことの重要性についても指摘しました。

講義後は、「コミュニケーション能力を養うために、どのように取り組めますか？」をテーマでグループ討論を行いました。「同僚と話す時には話を最後まで聴くようにする」「相手に関心を持つて接するようにする」といった気づきが多く、参加者から挙がり、日々の行動を見直す有意義な第三講となりました。（先嶋産業（株） 友利博明）

の責任から学ばないといけない自覚が芽生えたと急速な成長を遂げます。社員をとて大切にしており、子育て世代の社員さんにも働きやすい環境をつくっています。これまでの道のりで、苦し

かったことも赤裸々にお話ししていただき具志社長の人柄が見えました。元々地域に対する想いが熱く、現在こども会の会長も務めており地域の行事には社員と共に関わり子供の成長を後押しし

ています。家族に対する感謝も伝えて心温まる例会となりました。地域と共に歩む中小企業を掲げる同友会にとって新しくスタートする支部が楽しみです。（有）たけ事務 竹富久）

動力、（同）松島の代表・奥平あかり氏が報告する八重山支部例会が、二月七日、大濱信泉記念館にて「福祉から始まる『食』で繋がる愛の循環」誰もが主役になれる地域のために」のテーマで十一名が参加して開催されました。

北部支部 2月例会
知り合いゼロの名護で北部初の印刷工場を建てるまで



座長の崎浜氏と報告者の大森陽介氏

き寄せ、事業承継へと繋げた報告でした。グループ討論では、「経営者として成長した部分、足りない部分」をテ

との付き合い方」で、（株）琉球若草の専務取締役、大森陽介氏が報告しました。

石原氏は、最初に起業前のエピソードを話し、海外生活での体験が、改めて自身と沖縄を見つめ直すきっかけとなり、そこからがキャリアのスタートになりました。

大森氏は群馬県出身。大学卒業後、地元の信用金庫に就職し、その後、取引先の（株）若草印刷の社長に誘いを受け転職しました。大森氏は多様な業務をこなし、数々のトラブルを克服しながら、同

社で実績を積みまし。名護市に事業所を開設するにあたり、会社のバックアップ施設を求め、二〇一五年に（株）琉球若草を設立。地元地域団体への加入や地域行事への参加を通じて、名護市役所

や地域からの信頼を得ていきました。工場建設のための資金調達では、コロナ禍で融資が難しい時期にもかかわらず、自身の信金マン時代の経験を活かして融資を受け、印刷工場の建設を実現しました。同友

会を通じて仲間の輪が広がりが、今では多くの団体で役員を任されています。いつも穏やかな大森氏ですが、今回の報告を通じて、彼が大変な努力家であることを改めて感じました。（株）オキジム・富山安史）

「子供のころから数学のように答えがあるのが好き」だった奥平さんは、歯科・エステ・生命保険などの職歴に加え、自身のお子さんの不登校がきっかけとなり「放課後等デイサービスこたんと」、「石垣島うみそら保育園」を立ち上げます。



石原地江氏

那覇支部 例会
「不離一体シート」での経営体験報告

二月四日、沖縄産業支援センターにて、那覇支部二月例会が五十一名の参加で開催されました。「起業から承継まですべて見せます」をテーマにして、（有）アンテナ会長の石原地江氏（副代表理事）が報告し、勢いで起業してから今日までの二十八

年を赤裸々に語りました。その時々懸命に立ち向かって運を引



グループ討論の発表

二月二十日、ハウリブ 名護宮里店にて、北部支部二月例会が開催され、二十五名が参加しました。

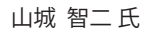
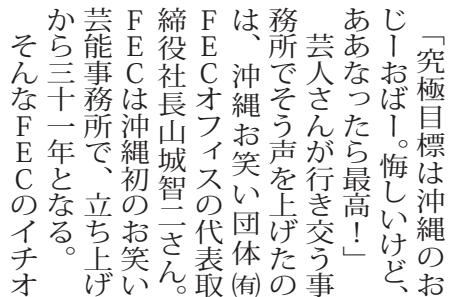
テマは「知り合いゼロの名護で北部初の印刷工場を建てるまで」元信金マンが教える金融機関



報告者の奥平あかり氏と座長の石原氏

進む、進む。前へ、前へ。小さな頃からこれまでの体験が、『まるっ』と仕事になっていく、そしてそれが良い広がりとなり、周りの人たちを幸せにしてい、それって理想だと思いませんか？

そんなみんなが主役になれる居場所作りの原（有）PLAN t PLAN・宮良高彰）



と。沖繩のおじーおばー、そしてヤンキーの面白さを、沖繩の言葉、題材、空気感の中で見てもらうのが本来のお笑いなのだ と確信。そうした『芸人の技』を様々な品物として舞台に並べ、お好みの笑いを持つて帰ってもらう いたいとのこと。

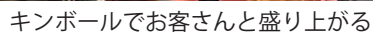
地に、そこで生まれた芸人がいることが沖繩の特徵ですね」

この舞台には、メディアのプロデューサーも訪れており、テレビやラジオ、イベント出演につながるのだそう。

「このライブは、季節ごとに芸人たちが考え

た、お客さんと一緒に盛り上がる企画もあります！二月はキンボール（大きな軽い玉）を会場で回して、最後に投げつけて鬼役をやっつけました。メディアでは味わえない臨場感のある笑いをぜひ楽しんでほしいで

うちなーんちゅに 等身大の沖縄のお笑いを届けたい

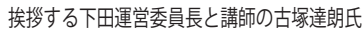
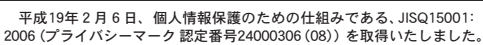


す！」

毎月の舞台は、第三十曜日の十九時から。あなたもぜひ、非日常の空間で沖縄らしい笑いを味わってみてくださいね！

(株)ハルモニアグラнде・小橋川牧)

事業内容／ サービス業（芸能事務所）



同友会大学第十五期大学院が二月一日に開講しました。八汐荘を会場に開講式と第一講が開催され、十一名が参加しました。

「古の伝統文化に学ぶ」をテーマに琉球歴史文化コンサルティング・代表コンサルタントの古塚達朗氏を講師に、座学三講とフィールドワーク二講

を取り入れた三月までの全五講となります。

開講式で小渡玠学長は、第十五期が開催された喜びと、自身も受講生として参加すること、今回学ぶ歴史・文化は経営にも生かされると挨拶しました。

開講式に引き続き開催された第一講では、「ムラのつくりかた」につい

第二講は二月一日に開催され、「字小禄散策」として、小禄自治会館前からスタート。第一講で

講座 第2・3・4講

を、注意点や留意点を交えながらわかりやすく説明していただきました。また、支援機関との連携や活用が、雇用後の定着

嶽など、次世代につながる文化であると改めて考えさせられる機会となりました。

（事務局）

いることに気づかされま
した。障がい者雇用を特
別なものと捉えるのでは
なく、通常の採用プロヤ
スの一環として考えるこ
との大切さを実感しまし
た。

自社ブランディングとは？

第三講は、二月二十一
日、(株)カリタス社長の根
橋理香氏より「デザイン
経営で中小企業こそ自社

開催しました。

「経営は未来への航海である」というお話から、銀行やコンサルタント、協力業者との関係、会社経営の在り方、対等な労使関係の構築、そしてコミュニケーションの方法について、「航海」を切り口に紐解いていく学習会となりました。

経営者と従業員を「船

「古の伝統文化に学ぶ」
同友会大学第15期大学院が開講

琉球歴史文化コンサルティング

代表 古塚達朗氏

第二講は二月一五日に開催され、「字小禄散策」として、小禄自治会館前からスタート。第一講で

嶽など、次世代につなぐ文化であると改めて考えさせられる機会となりました。

(事務局)

いることに気づかされま
した。障がい者雇用を特
別なものと捉えるのでは
なく、通常の採用プロヤ

開催しました。

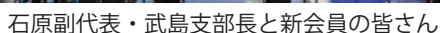
「経営は未来への航海である」というお話から、銀行やコンサルタント、

關係を鎖のようにつなげながら構築していくことが重要であるとし、印象的なキーワードやキャッチーな名言を「船のアン

カー」のように活用し、対等な労使関係を築くためのツールとしていく点が印象的でした。

（事務局）

2月 新会員オリエンテーション



云員オリエンテーションが開催され、二十三名が参加しました。新会員の皆さんは

上段右上から、ク
リーン・コネクト
(株)の島田優氏、(株)
THE DAIZの
砂川陽輝氏、沖縄教
育プロダクションの
新里司氏、(株)ラビツ
トプログレスの鈴木
健介氏、下段左端
(株)自宅の新田美登
里氏、下段右から、
Body care
guの具志皇子氏、
聖設計事務居の上原
誉子氏。

わが社のPOP

第325回

（有）宇根自動車

代表取締役 宇根 真一氏
＜北部支部＞



宇根 真一氏

「人がやらないことをやるのが好きなんです」と宇根さん。例えば、県内の同業者に先駆けて、いち早く海外技能実習生の受け入れを始めたり、早い時期からSNSでの

営の方向性を明確にするこの重要性を感じ、経営指針作成講座を受講し、初めは戸惑いながらも経営指針を作成しました。

その理念は、「お客様の役に立ち、満足と感動を与えます」「全社員の幸せと働きやすい職場作りを目指します」「感

飛躍を支える同友会の学び

広告展開を積極的に行ったたりしてきました。宇根自動車は、新車リースを中心に、車検、板金塗装、自動車保険などのサービスを提供しています。宇根さんが代表に就任したのは十五年前の三十三歳のとき。同友会で学ぶ中で、経

謝の気持ちを忘れず地域社会に貢献します」というもの。成文化したこと、お客様ファーストの姿勢を貫きながらも「社員の働く環境の整備が不可欠」だと改めて認識したそうです。

以前は長時間労働が当たり前で、休日の少なさに、最近の取り組み

みとして、宇根さんは「鰻の成瀬名護店」をオープン。そのポイントは【属人化しないビジネス】とのこと。専門職が必要な事業は特定の人材に依存しがちですが、「鰻の成瀬」のシステムやノウハウは、経験や修行を必要とせず、誰でも安定した品質を提供できる仕組

参加者は、泡盛の歴史や伝統的な製法について学ぶとともに、泡盛の楽しい飲み方についてのレクチャーを受け、沖縄独特の文化に触れる貴重な機会となりました。参加者からは「泡盛の奥深さを知ることができた」と

また、沖縄県と福山市の関係についても話題とな



広島同友会メンバーと

今回の交流会を契機に、さらなる関係強化を目指し、六月十九日には合同例会の開催が予定されています。今後の交流により、両地域の中小企業の発展に大きく貢献することが期待されます。（有）サイクルセンター 沖縄・玉城栄

二月二十日、広島同友会福山支部B地区と沖縄同友会中部支部による交流会が十三名の参加で開催されました。今回の交流会では、沖縄の老舗酒造メーカーである神村酒造を訪問し、泡盛の製造工程の見学を行いました。

企業視察の後は、沖縄市にある居酒屋「羅針盤」で懇親会が開かれ、沖縄と本土のビジネス文化の違いや、それぞれの地域における経営の課題などについて熱い議論が交わされました。

二ム産地である広島県福山市の工場にて生地に織り上げるなど製糸業を通じて繋がりにおいても深いことが改めて確認する事が出来ました。

参加者の一人は、「沖縄と本土では、考え方や感じ方に違いがあるが、こうした交流を通じて相互理解を深め、お互いのビジネスチャンスに繋がっていききたい」と語りました。

広島同友会福山支部B地区と 沖縄同友会中部支部が交流会を開催 合同例会を6月に予定

いった声が聞かれました。

り、琉球王朝時代から続く慶賀使節団の交流や、近年では沖縄県内の製糖工場から出るバガスを用いて粉砕加工し、岐阜県内での美濃和紙の製造技術を活用して和紙に加工。そのバガスと和紙を擦り合わせて糸にし、日本一のデ

若手経営者部会 うりずん まさかの結末!? びっくりの運動会



二月二十三日、豊見城市体育館で三回目となるうりずん運動会が開催され、大人と子どもあわせて七十八名が参加しました。

倉岡弁慶部長の開会あいさつの後、紅白に分かれ、玉入れ、ドッジビー、綱とり合戦、二人三脚と競技が進む中、白組が圧倒的優位な展開に。当初予定では運動会の締めは子どもだけのリレー。しかし「大人だってリレーがしたい!」の某氏の一言で、最終競技は大人同士の本気リレー、しかもこの競技で優勝が決まる大勝負に!

結果、赤組が勝ち、運動会も赤組の勝利に。まさかの展開に勝利を確信していた白組の子どもたちは納得できず、中には涙を流す子まで。「大人

になつたらこんな理不尽いっぱいあるんだよ」そう言っても子どもたちには響きませんが、最後にお菓子を貰ってみんな笑顔に。

運動会は次回開催も決まっています。ぜひお子さんと一緒に参加してくださいね!（株）ハルモニ アグランデ・小橋川牧

那覇支部 南地区
波動体験交流会

那覇支部南地区は、二月二十六日、地区会員交流を図るため、「HADO FIELD（サンエー浦添西海岸パルクシティ店内）」にて、最先端

三対三で試合を行い、波動を打ったり、避けたりと体を動かすことで、よい運動になりました。運動が苦手な方でも安全に楽しめるHADO体験でした。（事務局）

社労士・コンサルタント 青山喜佐子の 知って得する シリーズ171

ご存じと思いますが四月から労働法が多岐にわたって改正されます。身近な改正から紹介します。

①雇用保険は自己都合退職時の失業給付の給付制限期間の短縮。（二か月から一か月へ）

これにより早く失業手当を受給できるようになります

②高年齢雇用継続給付の支給率が最大で15%から10%に縮小されます。

高齢者の継続雇用社員の賃金を検討する必要

働きやすい職場づくりは社員の協力で

④介護休暇を取得できる社員の拡大（労働日2日以下の社員以外誰でも取得できます）

制度の整備だけでなくこのように育児・介護を

⑤育児をする社員への残業免除は小学校の入学前まで拡大（現在は3歳未満の子まで）

誰でもサポートできる能力向上や教育の計画、また協力するメンバーに感謝する姿勢も大切です。

③育児・介護の両立をめざして柔軟な働き方の措置が大きく変わります

⑦子の看護休暇は、小学校3年生終了まで取得できます（現在は小学校入学まで）。病気やケガだけでなく、学校行事にも適用されます。

④子育てする社員への残業免除は小学校の入学前まで拡大（現在は3歳未満の子まで）

（例）早めに帰る社員の仕事の引継ぎ、休暇を取る際の代替要員の確認など、人の確保だけでなく、誰でもサポートできる能力向上や教育の計画、また協力するメンバーに感謝する姿勢も大切です。

（プロフィール）
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人オフィスあるふあ
TEL 098-870-6686

青山喜佐子
（社会保険労務士法人
オフィスあるふあ所長）